

# 全国保健所管理栄養士会 スキルアップ講座

## No.16 保健所管理栄養士を取り巻く最近の話題から ～役割と関わり方実践編～

### 1 趣旨

近年、地震や豪雨などの大規模自然災害が頻発していることから、行政においても災害対策の強化が求められています。

災害が発生した場合には、被災地となった自治体が住民の命を守るため、避難所設置や食料確保など迅速に対応することになりますが、市町村行政栄養士の多くは、避難所運営など自治体職員として対応するため、専門性を活かした活動を行うことが困難となりがちです。

このような現状から、都道府県や保健所設置市の行政栄養士が、被災自治体の行政栄養士等と連携し、専門性を活かした活動を迅速に行うことが必要です。特に、今般、発災直後から、JDA-DAT や DHEAT などの関係者が被災地に入り、支援活動を行っており、災害時での専門職による支援活動も多様化・高度化していることから、様々な関係団体等と連携して効果的な活動が求められます。

そのため、平時から支援側及び受援側での体制整備が重要であることから、本講座では、改訂された「大規模災害時の栄養・食生活支援活動ガイドライン」を踏まえて、災害対応のための体制整備の充実を図ります。

**2 主催** 全国保健所管理栄養士会 事務局：一般財団法人日本公衆衛生協会

**3 期日** 令和元年8月31日(土) 10:30～16:30

**4 会場** 神戸学院大学ポートアイランドキャンパス B203教室 ※大学周辺地区は、裏面のとおり  
住所：兵庫県神戸市中央区港島1-1-3 電話：078-974-1551(代)  
アクセス：JR神戸線「三宮駅」、阪急・阪神「神戸三宮駅」、市営地下鉄「三宮駅」からポートライナーや直通バスを利用 等

### 5 内容と日程等

時間	次第	内容	講師
10:00～10:30	受付		
10:30～10:40	開会	主催者あいさつ／オリエンテーション	
10:40～11:00	情報提供	「都道府県調査結果について」	福島県南保健福祉事務所 専門栄養技師 積口順子
11:00～11:30	情報提供	「市町村調査結果について」	京都府己訓保健所 主査 大原直子
11:30～12:30	講話	「大規模災害時の栄養・食生活支援活動ガイドラインについて」	講師 熊本県水保保健所 参事 久保彰子
12:30～14:00	昼休み 休憩		
14:00～15:00	講演	「行政栄養士の活動支援～エビデンスから期待されること～」(仮題)	講師 国立健康・栄養研究所 室長 笠岡(坪山) 宣代
15:00～15:10	休憩		
15:10～16:30	グループワーク 発表、まとめ	テーマ「保健所栄養士が明日からでもできる取組みや体制づくりとは～ガイドラインを踏まえて～」	コーディネーター 札幌保健医療大学 教授 千葉昌樹 助言者 国立健康・栄養研究所 室長 笠岡(坪山) 宣代
16:30	閉会		

※会員の方は講話終了後、12:30から30分程度総会を行います。

### 6 参加申込み、参加経費

(1) 参加申込みは、別紙「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、事前アンケートを添えて、令和元年8月9日(金) (必着) までに、メールによりお申し込みください。

送付先：一般財団法人日本公衆衛生協会 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-29-8

TEL: 03-3352-4281 FAX: 03-3352-4605 E-mail: hc-kanri@jpha.or.jp

(2) 参加費 会員 3,000円 会員外 9,000円 なお、当会に未入会で今回の研修会から入会いただける場合は7,000円(参加費3,000円と令和元年度会費4,000円)を、当日、受付時にお支払いください。

### 7 その他

(1) 当日は、「大規模災害時の栄養・食生活支援活動ガイドライン(平成31年3月日本公衆衛生協会)」を御持参ください。

(2) 会場内での飲食は、禁止となっています。大学構内のD号館1階カフェテリアプレスやB号館1階フードコートシーガルが営業していますので、ご活用ください。なお、テーブル・席だけでも、利用できます。

# ポートアイランドキャンパス周辺マップ

